

会費納入のお願い

正会員、準会員、賛助会員で平成元、2年度会費の未納の方は、事務整理上至急ご納入下さるようお願いいたします。

払込みは北海道銀行当別支店(普通No.128259)宛、または同封郵便振替用紙をご利用下さい。(会計委員会)

原稿募集について

次号(第9巻,第1号)の発行は平成2年6月30日です。

会員各位の投稿原稿募集の締切りは平成2年3月31日(土)必着と致します。期日厳守の上、ご投稿をお願い上げます。本誌投稿規定ご参照の上“提出原稿の書き方”を編集委員会にご請求下さい。(編集委員会)

編集後記

今年の11月頃は遅い冬の到来を感じさせましたが、12月に入ると、例年通りの寒さになりました。

大学は堂垣内新理事長のもとで、新たな飛躍の年に当ります。また、本号は昭和57年12月創刊から15冊と、ひと区切りになりました。本誌は、当初の会員が教職員のみで構成されていた関係上、投稿件数が少なく、当時の編集委員はいろいろ苦勞された様子がかうかがえました。大学が第1回卒業生を社会に送り出すようになってから、本学会員の増加、それにもなう本誌の発行部数の順調な上昇をみて現在に至っております。これもひと重に会員各位のご協力の賜です。

ご承知のように、本誌は発刊当初はさておき、ここ数年来、本学卒業後に助手に、また研究生として残られた会員が、協同研究者として連名される原稿が目立って増えてきました。ようやく、本学の学会誌として、本誌は定着したようです。一方、大学院も2年目を迎えたことでもあり、院生諸君が、今後、本誌へ続々と投稿して下さるものと期待しております。

第8巻第2号には原著6、教育1、特別講演要旨2、公開講座要旨1、海外リポート1編等を収載することができました。ご協力頂いた各位に厚くお礼申し上げます。

(松本 記)